

あなたとJAをむすぶ情報誌

なかしべつ

1998
4月
No.280



宇都宮賞受賞記念祝賀会が盛大に開催される

前中標津町農協組合長・児玉光彦氏が北海道酪農発展への功績を認められ、宇都宮賞を受賞されました。

受賞を記念して、祝賀会が3月29日、寿宴にて町長、組合員、元農協役員、職員など関係者約200人が出席し盛大に開催されました。



としての栄誉を讃えて

児玉氏は、昭和四十一年、三十七歳で地域より推されて農協の理事となり、昭和四十七年から組合長として二十七年間の長期にわたり卓越した指導力により、組合の健全な運営と組合員の経営安定に努めました。

特に、酪農生産基盤の整備拡充と酪農経営の近代化に努めると共に乳牛資質の向上を図り、組合員の経済的・社会的地位の向上に尽力するなど地域農業の振興に多大な貢献をしました。





●農協及び関連団体での経歴

昭和41年6月～昭和47年5月	中標津町農業協同組合	理事
昭和47年5月～平成5年5月	中標津町農業協同組合	組合長理事
昭和47年7月～昭和49年6月	根室生産農業協同組合連合会	理事
昭和49年6月～昭和53年6月	根室生産農業協同組合連合会	副会長理事
昭和53年6月～平成5年5月	根室生産農業協同組合連合会	会長理事
昭和49年6月～昭和50年5月	北海道共済農業協同組合連合会	監事
昭和62年6月～平成5年5月	北海道厚生農業協同組合連合会	理事
昭和53年5月～平成5年5月	根室地方乳質改善協議会	会長
昭和53年3月～平成5年4月	北海道馬事協会	理事
昭和53年5月～昭和59年5月	北海道乳牛検定協会	理事
昭和59年5月～平成5年5月	北海道乳牛検定協会	会長
昭和54年1月～平成5年5月	北海道家畜改良事業団	理事
昭和56年12月～平成5年5月	北海道鞍用馬振興対策協議会	副会長
昭和60年5月～平成2年6月	北海道肉用牛協会	理事
平成2年5月～平成5年5月	北海道肉用家畜協会	理事

北海道の酪農指導者



●受賞歴

昭和60年1月	中標津町自治貢献賞
昭和61年1月	中標津町産業貢献賞
昭和62年3月	北海道農業協同組合功労者表彰
平成3年3月	北海道産業貢献賞

要求実現を目指し一致団結

三月八日、平成十年度の保証乳価、酪農畜産政策の要求実現に向け、根室地区酪農対策協議会と根室の酪農を守る会主催による根室管内酪農民代表者集会在、トーヨーグランドホテルで管内約三百五十人が参加し開催されました。

根室管内酪農民代表者集会

開会にあたり、主催者を代表して、根室地区酪農対策協議会の丹羽忠文会長は、「新農基法の制定を前に、今



年の運動は重要な意味を持っている。ゆとりを持ち、安心して生産に取り組めるよう要求実現のため、力を合せ意思結集しよう」とあいさつ。
続いて情勢報告を道酪農協会の渡辺喜七副会長が、「保証乳価は値上げの情勢でなく、値下げの状況。関連対策で対応する」との農水省の姿勢を説明した上で、「保証乳価を下げられれば酪農家は大打撃を受ける」と危機感を訴えました。
その後、根室地区JA青年部協議会の田中博行会長が、「乳価が下げられ酪農家の不安は増している。すべて要求が実現するよう頑張ろう」と決意表明がなされました。



平成10年度 畜産物価格、関連対策

乳価2年連続引き下げで決まる

政府は平成十年度の加工原料乳保証価格や関連対策を三月二十七日に決定しました。

今回の決定に対し、政府は実質的に乳価の上乗せになっている。二円の高品質生乳生産特別対策は、世界

貿易機関協定上の削減対象補助金であるとの理由で見直しの意向を示したが、与党の強い反発で継続される

ことになりました。
保証価格は算定の透明性や内外価格差縮小などのねらいから、引き下げの方針を示し、酪農家の手取りの実質確保を軸に進められ、最終的に前年度比四十一銭引き下げの七十三円八十六銭となりましたが、これにより酪農家手取り減少分は九億八千万円になりますが、生クリーム対策

費が十九億七千万円増額して五十七億円となることから、実質手取りは拡充されるとしています。

このことは、昨年から導入された総合乳価が鮮明に打ち出されたこととなります。今後の示される関連対策の細部検討に注目されるところです。

畜産関連対策の概要

一、畜産環境対策（約百九億円）

- ① ふん尿処理装置のリース機器整備に助成
- 畜産経営に対する環境問題についての特別指導

二、経営対策

(1) 農家負債、経営継承対策（約百二億円）

- ① 大家畜経営及び後継者の経営継承の円滑化を図るため、残高借換利子補給
- ② 新規就農者の経営体験研修、受け入れ体制の整備

(2) 労働軽減対策（約七十九億円）

- ① 飼料生産受託組織の育成強化、酪農家の病気、事故に対するヘルパーの助成、ヘルパー要員の安定確保を図る措置
- ② 肉用牛ヘルパー活動の推進、各地域の集団活動の推進に対する助成

(3) 担い手育成対策（約六十四億円）

- ① 酪肉基本方針について生産者への普及、啓発及び先進的畜産経営技術の普及
- ② 酪農経営体育成強化緊急対策の実施

(4) 低コスト化の推進（約八十一億円）

- ① 肉用牛のコスト引き下げを推進するための助成
- ② 乳肉複合経営を推進するための奨励

三、飼料対策（約二十二億円）

- ① 効率的な自家配合飼料の給与技術の普及、粗飼料基盤を拡充するための経費助成
- ② 配合飼料価格安定制度の適切な運用

四、家畜衛生畜産物安全対策（約二十八億円）

- ヨーネ病の広範な検査と淘汰、畜舎環境の変化

五、畜産物の加工、流通、消費拡大対策

- (1) 食肉の消費拡大対策（約二十三億円）
- ① 国産牛肉の消費拡大
- (2) 牛乳乳製品消費拡大対策（約四十一億円）
- ① 牛乳乳製品の消費拡大を図るため、幼稚園等での牛乳の集団飲用の促進

- ② 生乳利用の促進のため、はっ酵乳や飲用乳の表示及び知識、情報
- ③ 牛乳飲用習慣の定着のため学校給食奨励

- (3) 食肉処理施設再編整備対策（約六十二億円）
- 食肉処理施設の整備推進に対する助成

(4) 乳業再編整備対策（約七十三億円）

- 乳業の集約化による効率的な乳業施設の整備推進

六、畜産経営安定のための対策

- (1) 酪農経営の総合的な所得の確保（約百四十七億円）
- ① 国産生クリーム向け生乳の需要拡大のための助成拡充
- ② 指定生乳生産者団体の再編整備の推進及び余剰生乳の効率的処

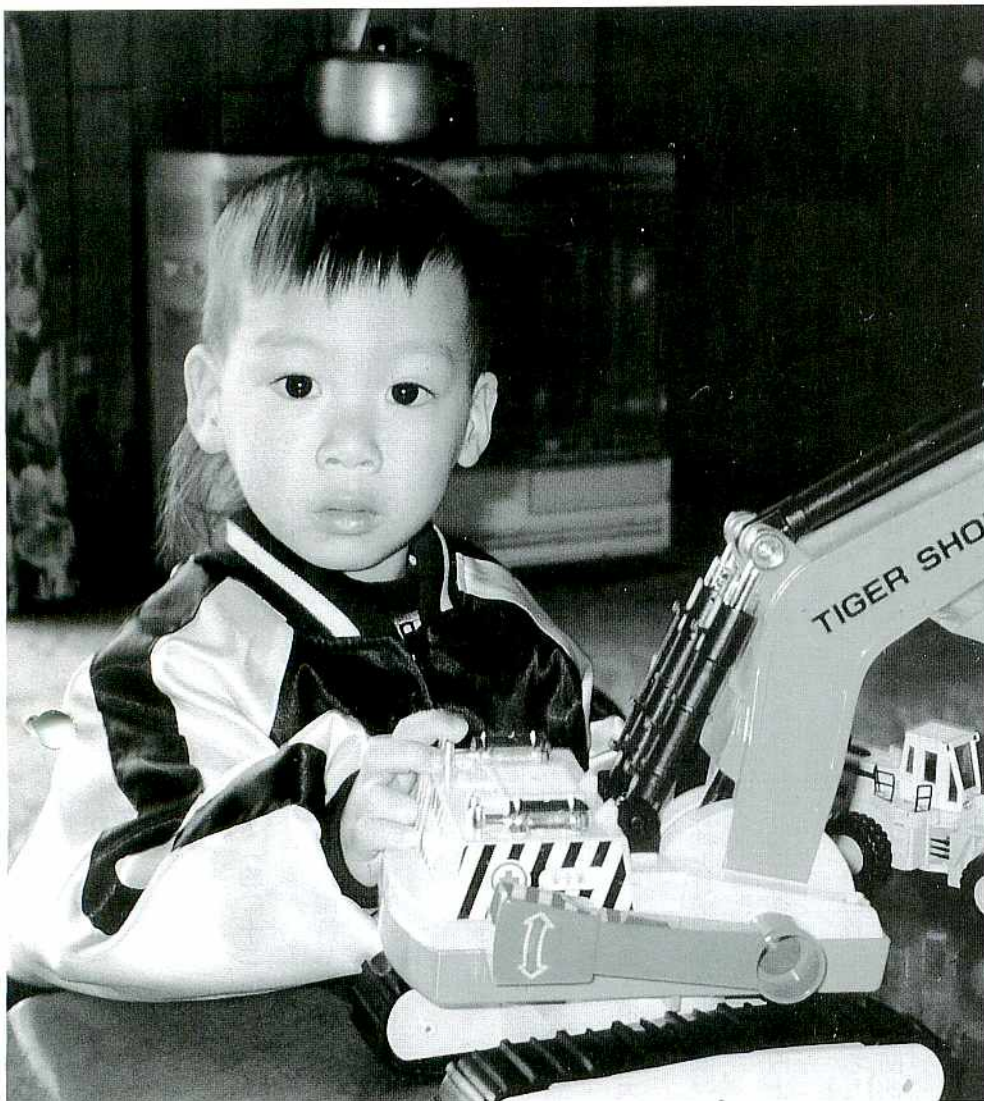
- ③ 肉用牛の生産、導入利用を計画的に推進するための特別対策
- (2) 肉用牛経営の安定対策（約九十七億円）
- ① 肉専用種について、繁殖雌牛の規模拡大者に対する助成及び子牛価格低落時における繁殖雌牛の維持拡大に対する助成
- ② 優良種豚の導入、飼養管理技術の高位平準化、種豚改良に対する助成

- ③ 養豚経営の安定対策（約七十三億円）
- ① 地域肉豚生産安定基金造成事業の運営
- ② 優良種豚の導入、飼養管理技術の高位平準化、種豚改良に対する助成

平成10年度加工原料乳保証価格等総括表

		9年度	10年度	対前年度増減
保証価格		74.27円/kg	73.86円/kg	(▲0.41円/kg)
基準取引価格		63.40円/kg	63.02円/kg	(▲0.38円/kg)
限度数量		240万トン	240万トン	(前年同)
安定指標価格	バター	965円/kg	955円/kg	(▲10円/kg)
	脱脂粉乳	13,090円/25kg	13,090円/25kg	(前年同)
	全脂加糖れん乳	8,211円/24.5kg	8,211円/24.5kg	(前年同)
	脱脂加糖れん乳	7,333円/25.5kg	7,333円/25.5kg	(前年同)

わが家の 人気者



豊岡 高橋 敏行、矢末子さんご夫妻 三男 ^{しょうの} 将乃くん(2歳6カ月)

小さいけど、 とってもきかん坊なのだ!

最近、おしゃべりも上達して増々家の中をにぎわせているのは、高橋敏行さん宅の三男坊、将乃くん。おじやますると、ちよっぴりはずかしそうにうつつむき加減でしたが、時間がたつにつれ、ワンパクぶりを発揮します。

「いつもお兄ちゃん達とケンカしてばかりなのよ」と話すお母さんですが、一番強くてきかないのは将乃く

んなのだそうで、顔をキズだらけにされてしまうのは、お兄ちゃん達だとか。また以前に、お姉ちゃんの理紗ちゃんのお尻をかじって泣かせちゃったというエピソードに大爆笑でしたが、小さなカワイイ顔からは想像できない、きかん坊ぶりにおどろきです。

今は、お父さんが仕事にのせてくれるトラクターが大好きで、家の

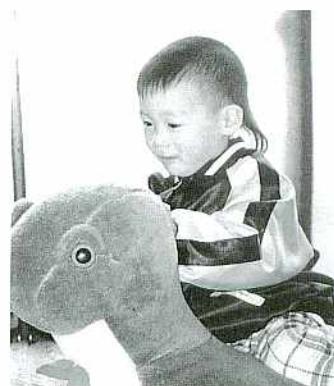
中では、ウンボのおモチャで、洗たく物や、ごはんなどをすくってしまふといういたずらをします。

牛も大好きで、牛舎へ行ってはソリにサイレージをつんで、愛用のオモチャのスコップでエサもあげちゃうというおりこうさん。

そんな活発な半面、やっばり末っ子。お父さんやお母さんに甘えて、「チューチュー攻撃」をしちゃうというカワイイ将乃くんには、お父さんを始め、家族みんなメロメロなのです。

以前は、すぐカゼをひいたりして心配な所もあったようですが、最近はずっかり丈夫になったという将乃くん。「やっばり健康で元気に、そしてやさしい子に育ってくればいいな」と話すお母さんも、毎日の成長をやさしく見守っています。

春になり、家族みんなが忙しい季節を迎えますが、お外が大好きな将乃くんは、畑でお手伝いするのを楽しみにしています。これからもいっぱいわんぱくして、スクスク元気に育って下さいね!



ぬいぐるみも大好きなのだ

畜農技術

乳房炎「基本的な理解を深め、意識的な対応を」

北根室地区農業改良普及センター

乳房炎は酪農家にとって最も大きな損失を与えている病気であり、乳量、乳質の低下などで生産効率を下げ莫大な損失を与えます。

一、乳房炎による損失

- ・生産乳量の減少
- ・ペナルティによる損失
- ・乳成分の変化（低下）による乳代単価の減少
- ・治療代の損失
- ・淘汰、更新としての損失
- ・精神的苦痛
- ・作業的損失

二、乳房炎の感染、原因菌の種類と特徴

乳房炎は、乳頭口から原因菌が乳房内に侵入することによって引き起こされます。この時、原因菌の侵入に対する牛の防衛機能との関係によって、感染が成立するかどうかが決まります。

原因菌の種類によって乳房炎を伝染性乳房炎と、環境性乳房炎に分類できます。

伝染性乳房炎菌は感染力が強く、主に搾乳中に牛から牛へ手や搾乳器具を介して伝染します。その原因菌は、主に乳頭付近や湿っぽい牛床に生存しています。

環境性乳房炎菌は感染力は弱く、搾乳時より搾乳から搾乳の間の日常行動の中で感染します。その原因菌は農場のあらゆる場所に生息し、特に湿気の多い牛舎の通路や牛床、ぬ

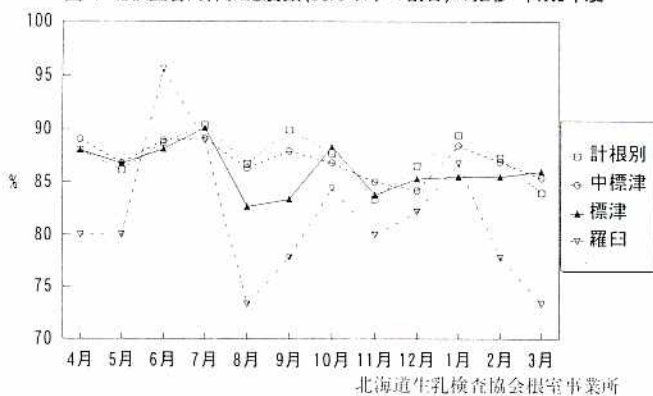
かるんだパドックなどが細菌の増殖源になっています。

三、乳房炎の感染と体細胞数

乳房炎原因菌の感染により乳腺組織が障害を受けると、血中から沢山の白血球が遊走し、これが体細胞として計測されます。牛乳中の体細胞数は、少なければ少ない程乳房の健康状態は良いと言えます。

北根室管内の平成九年度体細胞数三十万以下の割合は図一の通りです。

図-1 北根室管内体細胞度数(30万以下の割合)の推移 平成9年度



北海道牛乳検査協会根室事業所

四、乳房炎防除対策

・搾乳後のティッピング（ミルクカー離脱直後すみやかに行う。乳頭の三分の二以上侵漬し、薬液が乾くまで牛を立たせておく。新規感染率

を五〇割は減少できる）。

・前搾り（ストリップカップを利用して異常乳を発見する）。

・乳頭の衛生的清拭（二頭一布）

・搾乳機械の整備点検

・搾乳中の真空変動防止

・過搾乳による乳頭損傷防止

・牛舎、牛床の管理（糞尿で汚れた牛床、ぬかるんだパドック）

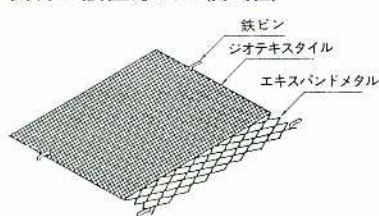
・感染牛の排除（搾乳順序、治療、隔離、淘汰）

・適切な飼養管理（牛の細菌への抵抗力を高める）

五、泥ねい化防止による乳房炎対策

雪解けとともにパドックが泥ねい化し牛が汚れ、乳房炎の感染率も増加します。パドックや放牧地の飼槽・水槽付近や牛舎の出入り口など泥ねい化の著しい箇所に、局所的に適用できるエキスパンドメタルと、ジオテキスタイルを組み合わせて設置することができ（平成七年北海道指導参考）。（図二）

図-2 資材の設置方法の模式図



乳価決定におもろ

三月は旧暦でいう弥生の月です。

弥はいやと読み、ますますとか、

いよいよ、いやが上にとなり、物事がたくさん重なる様をさして、

弥生はいや、おいの転化したもので草木がいよいよ生い茂ることです。

三月の山野は草木が元氣よく新しい芽をふき生い茂る春を迎えることにより、

例年の東京の三月はもうやなぎが芽をふき、桜のつぼみがふくらみ、乳価決定の頃は開花をみる事が出来ます。しかし、三番町農水省分室のある千島ヶ淵の桜は開花予想にもかかわらず、つぼみは固く、今年の乳価決定に同情してか、咲きませんでした。

桜散るは受験生の不合格を示す表現ですが、桜、咲かずは乳価引き下げの言葉になりそうです。

一月十四日の畜産局との酪対懇談会に始まり、四次の要請運動の結果が三月二十六日未明五時半頃に出ました。透明性を謳いながら、不透明な乳価となっています。

乳価引き下げが必至であれば、総合乳価が酪農経営を守るといふ方法になりました。その結果、四十一銭引き下げを受けて、倍づけの八十二

今月のたより

組合長日誌

代表理事組合長
三友 盛行

錢の二百四十万円分を生クリーム対策につけることになりました。本道選出の議員の皆様には酪農民の要請を受け力強く活動をされ、有難うございました。

改めて昨年、今年の乳価決定の過程を省りみながら今後を考えてみます。我々生産者は終始、経営の基本は乳価であり、少なくとも、現行価格の維持を要請してきました。一方農水省は、酪農を守るためには、不足払い法を守ること、不足払い法を守るためには、透明性を前提にして政治加算を精算して引き下げをして、その努力を内外に示すという構図になります。制度は生産者のためにあるものですが、制度を守るために生産者に無理を強いるというのは、本末転倒ですが、その様な当り前のことを切り捨てるのが国際化と暗い気持ちになってしまいます。

今年の焦点は横づけの二円でした。黄色の政策であるベタづけを排し、緑の政策に変える方針でしたが、政策としての成熟度に欠け、今年はずわらず、その代りに本体価格の引き下げに踏み込みました。

四月一降一年かけて、この二円についての論議が行なわれます。

日本の畜産、酪農を守り、育成、自立させるという観点では農水省、生産者、双方共通認識はあるのです

が、その方法、手段に大きな違いがあります。WTO下における不足払い法のあり方、酪農経営が成り立つための乳価、本体価格と関連対策等々二〇〇一年をめざして、充分な論議と、生産者組織のめざすべき政策の立案を含めて、成すべき事は限られた時間に比べて沢山あります。現行価格を守れず、引き下げになり、残念であり、申しわけありませんでした。今後とも、生産現場に足を運び、耳をかたむけ、外国の事例も研究し、二十一世紀に相応しい酪農確立のため全道酪対を中心として励んでまいります。



みなさんの要望をとりいれた 今後の農協運営を目指して



地区別懇談会

農業所得税申告の準備と重なり出席者は少なめでしたが、三月三日～五日の日程で地区別懇談会を実施し、皆様の意見をお聞きしました。

当日説明した議題は、十二月末農協事業概況、同クミカン状況、役員定数、Aコープ新店舗建設の進捗状況、四丁A合併に関する検討経過、牧舎運営の今後、平成十年度農協事業計画、その他でしたが、特に事業計画に関しては口頭説明となり、皆様には資料を添付し分り易く説明すべしと、大いに反省しております。

購買事業では、肥料、農薬、農業機械、燃料の供給高が減少し、前年と比べ一億三千四百萬円の減、生活店舗では、二千九百萬円の増となっています。販売事業では、補給金も含め乳代で一億四千六百萬円の増、農畜産物で七千八百萬円の減となりました。金融事業では、貯金が前年に比べ三億二百万円と近年にない伸

びを示しており、金融機関としての農協への信頼の証拠と思われれます。クミカン状況については、前年に比べ貸越残の減少と預り残の増加により、全体収支で大きく好転していますが、農業所得率では大きな変化はなく、特に農産収入の伸びと貯金取崩しによるものが大きい内容となりました。



ています。役員定数について、一月開催の役員定数審議会にて理事定数九人、監事定数二人の答申がなされ、理事会承認もされましたので、今年の総会

に議案として提案致します。

Aコープ新店舗建設について、店舗の模様による説明と、四月下旬の工事地鎮祭及び五月一日からの工事着工について説明し、総会では固定資産の取得として提案致します。

合併に関する検討経過については、三月末までの組織討議及び結論が難しい状況にあり、当組合としては新年度に入って、一定の総括をしたい旨、説明致しました。

牧舎運営の今後については、昨年四月からの実績（一月末まで）の説明と、乳製品工場の経営安定及び販売の充実強化を図る上で、牧舎製品が必要であることを説明し、十年度より三カ年継続運営をする事について理解をお願いしました。

平成十年度事業計画について、策定作業中の第四次地域農業振興計画を反映したい事、またAコープ新店舗オープン、給油所の日曜営業及び価格対応、生乳検査業務の民間委託と乳質改善指導の強化などの取組み、さらに第四次農協経営長期計画に於いては、手数料など負担の置き換えや資材価格の弾力化など、一律平等から公平感のある運営に取組みたい旨説明を致しました。

資料不足のため具体性の乏しい面もありましたが、懇談会での皆様の意見を農協理事会で充分協議し、運営に取り入れたいと存じます。誠にありがとうございました。

てん菜育苗プラント稼働開始!

畑作の春を告げるてん菜育苗プラントが、三月十四日から稼働しました。今年のでん菜作付は二十六戸で、約百九十ヘクタールを予定しています。プラント内では、力強い機械音の中、流れ作業で手際良く育苗ポットが作られて行きました。今ごろは、ビニールハウスの中で春の植え付けを待って、力強く育っている事でしょう。



てん菜栽培講習会開催される

てん菜生産振興会主催による栽培講習会が、三月九日ウエディングプラザ寿宴にて、約三十人の参加により開催されました。

育苗を間近に迎えた講習会であり、育苗管理技術を中心に除草処理、安定生産を目指した土づくりなど熱心に懇談され、実り多き秋を願って講習会を終えました。



平成10年度 町営牧場夏期放牧 希望牛の取りまとめ

次のとおり開陽台牧場の入牧を予定しておりますので、入牧を希望される農家は中標津町役場農林課畜産係、または町営牧場までご連絡願います。

- ・入牧受入れ牧場 中標津町開陽台牧場
- ・取りまとめ期日 平成10年4月17日(金)まで

詳しい案内については、中標津町役場農林課畜産係、または町営牧場までご連絡願います。

農林課畜産係 電話3-3111・FAX 3-5333
開陽台牧場 電話4-2268・FAX 4-2268

乳牛審査講習会や、 収穫祭など 一年を通じて 多彩な活動を計画

第9回 Jrホルスタインクラブ定期総会



新会員7人が仲間になりました

第九回、中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会及び第十三回スプリングスクールが、三月二十七日、農協大会議室でジュニア会員二十三人、父母十人及び関係機関の出席により開催されました。

総会に先立ち、今年度にて卒業する十六人のうち八人に卒業記念が、また、新年度から新しくジュニア会員の仲間入りをする七人に、新入会員認定証の授与式が行なわれ、新しい仲間と共に出席者全員による誓いの言葉が朗唱されました。

続いて運営委員長の佐々木昭雄氏から、ジュニアクラブの活動を振り返りあいさつし、その後、ジュニア会員はスプリングスクールを。父母らは別室にて総会議事が審議され、全議案原案どおり承認されました。

今年度の主な活動は、審査講習会四月十九日、管内サマースクール八月上旬、川崎市児童交流受け入れ協力八月下旬、全道総合畜産共進会への参加九月十二・十三日、ジュニア秋の収穫祭九月下旬、ウインタースクール十二月、など多彩な事業が計画されています。

スプリングスクールの内容は、十年度の活動計画の確認、酪農講座、新リーダーの改選などが行われました。

そして、午後からは親睦ボーリングが行なわれました。

なお、平成九年度役員については次の通り決定致しました。

運営委員長 広瀬清寿
副運営委員長

監事 船橋信一
保科 妙

委員 佐藤裕子
金子安一

奥田昌江
齋藤一美
櫻井幸一

平成十年度リーダー
奥田悠平
サブリーダー

広瀬紘治
地区リーダー

船橋裕太、筒井豊彦、藤井彩美
金子美有紀



ジュニア 新入会員募集中!

加入希望者は、JA中標津事務局
(家畜改良課・杉本)
までご連絡ください。



「今年もみんなで頑張りましょう」

第45回、女性部通常総会が3月18日(水)、農協大会議室において、開催されました。

役員に対する 理解と協力を求める

ん、俣落・藤田さんが議長に選出され、平成九年度事業報告、平成十年度事業計画(案)など原案通り承認されました。

その他議事の中では、「役員(特に部長)については、大変な位置づけであり、責任や負担を考えると、もう少し報酬を上げてはどうか」との意見から、現在の役員報酬の見直しを求める声がありました。

参加部員全員で、女性部の代表者である役員に対する理解と協力を改めて考え直し、今後は報酬を上げる方向で進めていこうとの事を挙手で決定いたしました。これについては、

今後の支部長会議などで話し合い、改善していく事となっています。

総会終了後、保健センターの柏川さんを招き、「老人介護について」と題した講演会を開催。ビデオなどを見ながら約一時間。参加の皆さんは、真剣な表情で話しを聞いていました。

平成十年度女性部役員

部長 横田 純子 (高嶺)

副部長 佐々木美恵子 (南俣橋)

会計 安江 昌子 (新生)

監事 武田 静子 (西共栄)

安田じゅん子 (当幌)

日下恵美子 (南俣橋)

第45回 女性部通常総会

まず横田部長から、「環境整備、老人介護については、引き続き学んでいかなければならない課題であり、今後の活動方針を決めるため活発な意見ができる事を期待します」と挨拶。

続いて、高橋副組合長、普及センター井芹所長、青年部山田部長から祝辞が述べられました。

出席者四十六人で、武佐・白田さ



開会挨拶の横田部長



活発な意見が飛び交いました

暮らしの知恵袋

生活を見つめてみよう!

北根室地区農業改良普及センター

ある講演会でこんな話がありました。

「これから質問することを、問に対して一分以内に答えて下さい。」

①これから二十四時間であなたは何を達成したいと考えていますか。

②今から四十八時間で何を達成しますか。

③一週間、一カ月そしてこれから一年間では何を達成しますか。

④一年後の自分はどうなっているでしょう。

⑤二年後、三年後、五年後、十年後の自分はどうなっているでしょう。

⑥今、自分が百歳だと仮定して自分の人生を振り返って下さい。まず〇歳から十歳の間で自分が成し遂げた最も意義のあることは何でしょう。

⑦十歳から二十歳の間で成し遂げた最も意義のあることは何でしょう。

⑧二十歳から三十歳、三十歳から四十歳、四十歳から五十歳、五十歳から六十歳、六十歳から七十歳で成し遂げた最も意義のあることは何でしょう。

⑨あなたが死んだとき、墓石に自分の思いを、一つ書くことができるといわれたらどんな言葉を書きますか。いかに自分の人生を見つめていないかを思い知らされるものでした。

⑩ゆとりある生活とは……

近年、生活からでる様々な問題も多くなり、ますますゆとりある生活ということを考えさせられます。

貯蓄広報中央委員会が行なったアンケートによると、経済的豊かさを

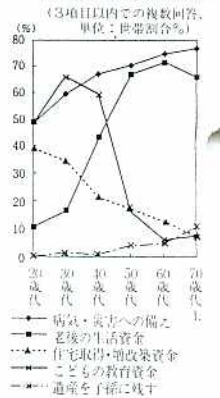
実感している人は六六・二割となつて

います。厳しい様子が見えつつも、また、年代別にみた貯蓄の目的を見

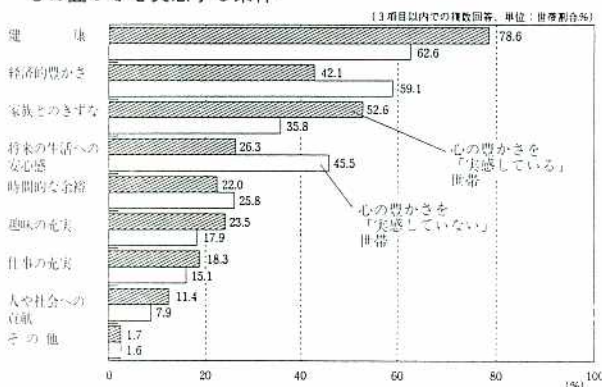
てみますと、年代の推移によって重視する項目が変化していることがわかり

ます。また、心の豊かさについては、実感するために大切なものとして、「健康」「経済的豊かさ」「家族とのきずな」「将来の生活への安心感」が上げられています。心の豊かさを

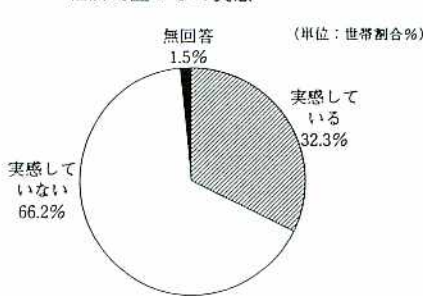
年代別にみた貯蓄の目的



心の豊かさを実感する条件



経済的豊かさの実感



また、心の豊かさについては、実感するために大切なものとして、「健康」「経済的豊かさ」「家族とのきずな」「将来の生活への安心感」が上げられています。心の豊かさを実感していない人に関してみると、経

冒頭の質問で感じたように自分の人生をどう生きていくのか、一度考えてみるのもよいかもしれません。

このように計画的に管理し、経済的にゆとりをもつことはとても重要なことです。また、ゆとりある生活を考えたとき、この経済的なゆとり、時間的ゆとり、精神的なゆとりが考えられます。しかし、どのゆとりについても自分がどのような目標を持って、どのような生活をするのか、またはどのような経営をするのか、家族の理解の上で達成されていくことが、ゆとりにつながっていくのではないかと思います。

経済的豊かさなど経済的事由を重視する割合が高くなっています。厳しい経済状況下、家族の成長の移り変わりの中で時期を見極め、計画的に家計を管理する事が今後より大切になつてくると思います。

このように計画的に管理し、経済的にゆとりをもつことはとても重要なことです。また、ゆとりある生活を考えたとき、この経済的なゆとり、時間的ゆとり、精神的なゆとりが考えられます。しかし、どのゆとりについても自分がどのような目標を持って、どのような生活をするのか、またはどのような経営をするのか、家族の理解の上で達成されていくことが、ゆとりにつながっていくのではないかと思います。

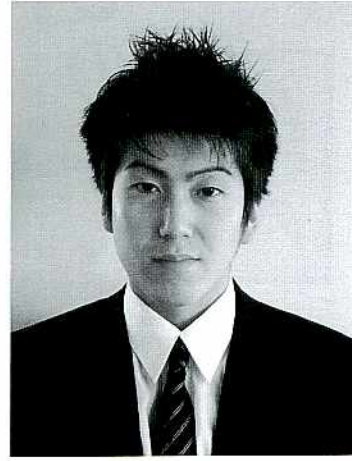
新職員の紹介 (准職員)



久保田 裕一
経営相談課相談係



泉 綾
管理電算課電算係



尾崎 啓
管理電算課電算係



志賀 智浩
畜産販売課肉牛センター係



青木 渉
畜産販売課肉牛消流係



真野 輝一郎
経営企画課基盤整備係



大沢 未央
営農資材課給油所係



渡辺 圭一
営農資材課給油所係



野田 礼子
家畜改良課家畜改良係

■平成10年4月1日発令

新採用職員を紹介いたします。
皆様よろしくお願ひします。

新職員の紹介

(准職員)



渋谷 郁江
生活店舗課店舗係



松下 彩子
生活店舗課店舗係



中 ゆう子
酪農課乳製品工場係



伊藤 強
生活店舗課店舗係



工藤 麻奈未
生活店舗課店舗係



杉原 由香
生活店舗課店舗係

退職

経営企画課考査役

岡 豊実 (三月末)

畜産販売課乳牛消流係長

渡辺 幸男 (三月末)

管理電算課電算係

麻郷地 一則 (二月末)

家畜改良課家畜改良係准職員

酒井香奈美 (三月末)



谷向 美鈴
生活店舗課店舗係



筒井 裕美
生活店舗課店舗係

食料・農業・農村地域に関する

新たな基本法



快適で住みやすく、 ひらかれた地域社会へ



都市と農村の交流が大切

生活環境の 整備で定住を

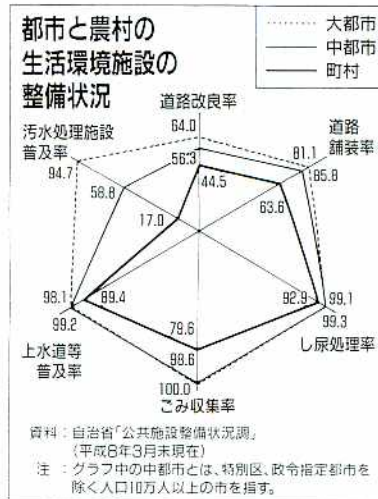
農村地域は洪水防止の機能や自然環境の保全など、多面的な役割を果たしています。そこには、農業者などの地域の担い手が住み続け、水田や畑を守り、次の世代に受け継いできたという、「ひと」の長い歴史があります。ところが、人口は都市に集中し、農村地域の人口は減少しています。ちなみに、現在全国に十四万集落ありますが、この二十一年間で約三千集落が消えています。このままでは、農業ばかりか農村地域が果たしている多面的な役割の維持も困難になります。このため、「ひと」が住み続けることができ、しかもU・J・Iターナー者が続々と農村地域に入ってこられるような「定住条件の整備」が必要となつてきます。居住の安定性を確保するために

は、①住宅及び生活関連施設の整備、②教育、文化、医療水準の確保、③雇用の場の確保が基礎的な条件とされています。ところが、農村地域の生活環境の整備は改善されてきているものの、都市に比べ遅れているのが実情です。特に、生活雑排水などの汚水処理の整備が遅れています。生活雑排水がそのまま水田や川に流されると、環境への悪影響になりかねません。また、道路の整備は、都市に比べ十年遅れている、といわれています。医療・福祉、文化施設、雇用の場などの立ち遅れもあります。こうした生活環境の整備の充実を図る事で、都市以上の自然と調和した快適な生活の場「定住」が実現することになります。

都市からの移住で

農村に活力を

U・J・Iターナーでの就農や農村への移住の動きが見られます。国土庁の調査では「都市的な考え方や生活スタイルがもたらされ従来の農村独特の思考様式や生活習慣を見直す刺激となった」「共同作業、運動会、祭等の集落活動・地域活動の活発化に効果があった」など、移住者を受け入れた農村の評価は高くなつてい



ます。このため、所得確保の政策など、移住希望者が農村に定住しやすくなるような支援を充実していくことも必要です。また、農村に短期間滞在し、リラックスしたい、子供に社会体験や自然とのふれあいをさせたいなど、農業や農村とのかかわりを求める都市住民の要請が高まっています。こうした人たちは、移住者予備軍といえます。

都市の住民の要望にこたえていくためにも、農村地域で行われているグリーンツーリズム、学童農園、農業体験、イベントなど、農業・農業資源を活用した都市との交流を盛んしていかねばなりません。これからは生き生きとしてひらかれた農村地域を創造していくことが不可欠です。そのためには、地方自治体の広域化や権限・財源の充実・強化などについて配慮された地方分権の推進が前提として必要です。

第十三回理事会の経過

開催日時 平成十年三月十六日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

一、共同企業体指名業者の選定について
〈協議事項〉

一、地区別懇談会の主な意見について
〈報告事項〉

一、「児玉光彦氏宇都宮賞」受賞を祝う会の開催について

二、職員の退職と平成十年度新採用職員の内定について

第十四回理事会の経過

開催日時 平成十年三月三十日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

一、平成九年度収支決算見込みについて
二、職員の期末手当について

三、役員報酬審議会の答申について
四、平成十年度各部の事業計画骨子(案)について

五、各種資金の借入申込みについて

六、平成九年度贈与税納税猶予に係る債務保証について

七、肉牛センター固定資産の取得と処分について

八、大根生産の取り組みについて

九、中標津町農協畑作対策協議会設立に伴う予算措置と委員の選出について

十、共済事業広域推進モニター制度について

十一、店舗車輻リース契約の更新について

十二、平成九年度組合員の資格変更について

十三、農業協同組合同定款等の一部改正について

〈協議事項〉
一、平成十年度収支予算計画案及び長期計画について

〈報告事項〉
一、農業所得税・消費税申告状況について

二、各種補助事業に係る精算状況について

三、乳牛頭数調査結果について

四、生乳生産状況について

五、ヨーネ病検査について

六、北海道三・八牛乳について

第51回

通常総会のお知らせ

組合に結集し、
協同の力を発揮しましょう

第五十一回中標津町農業協同組合同常総会が平成十年四月三十日(休)、中標津町「寿宴」を会場に午前九時から受付、午前十時開会致します。春の農作業など忙しい日々の事は存じますが、組合員皆様の出席をお待ち申し上げます。

3月の組合日誌

- 2日 女性部三役会
- 3日 地区別懇談会(武佐、第二俣落、西竹)
- 4日 地区別懇談会(開陽、俣落、当幌)
- 5日 地区別懇談会(中標津、俵橋)
- 7日 農協後継者講演会
- 10日 新店舗建設委員会
- 11日 新採用面接試験
- 12日 新店舗建設委員会
- 13日 新店舗建設委員会
- 16日 第13回理事会
- 17日 肉牛センター棚卸監査
- 18日 女性部通常総会
- 18日 青年部臨時総会
- 19日 第10回営農委員会
- 20日 第11回生産委員会
- 23日 第7回管理購買委員会
- 24日 新店舗現場説明会
- 26日 酪農ヘルパー役員会
- 27日 ジュニアホルスタインクラブ定期総会
- 30日 第14回理事会
- 31日 棚卸監査・役員協議会

編集後記

雪解けも進み、やっと春らしい季節となりました。

平成10年度の加工原料乳保証価格は、2年連続の引き下げとなり、酪農の春は厳しいスタートになりましたが、気落ちせず何事にも前向き思考でありたいものです。

今月号より広報紙をA4サイズに変更しました。企画を一新し今まで以上、内容の充実を図ってまいりますので、組合員皆様のご協力をお願い致します。

チーズトーク in ねむろ'98

テーマ「酪農のまちにチーズ文化を」

- 日時 4月26日(日) 受付12:30～ 開会13:00
- 場所 しるべっと(中標津町文化会館)
- 主催 根室支庁・農家チーズを作る会

入場料
無料です

- 講演「楽しいチーズの話ーチーズで巡るフランスの旅ー」(13:00～14:30)
講師 本間のみ子氏(輸入チーズショップフエルミエ社長)
- 道内及び海外で作られているチーズの展示&試食
選び抜かれたチーズを見て、味わってみてください。

問合せ先★根室支庁農業振興部農務課企画調整係 01532-3-6131 ㊟2714
★農家チーズを作る会事務局 代表・三友由美子01537-3-3986



牧舎牛乳 200ml・900ml

牧舎牛乳は健康な牧草を食べて、健康に生活する牛から搾った生乳を、新鮮なうちに工場での特性を損なわないよう処理しております。

低温長時間殺菌法（62～65℃で30分間加熱の殺菌方法）は、「有用な乳酸菌、栄養、風味など牛乳の特性を損なわず、有害な病原菌だけを死滅させること」と定義されています。

超高温滅菌法（120～140℃ 2秒間）で処理された牛乳は、牛乳中に豊富に含まれる消化吸収の良い可溶性カルシウムが破壊され、蛋白質もビタミンも高熱によって失われます。

牧舎牛乳は中標津町産の生乳で生産された低温殺菌・ノンホモ牛乳です。